

平成20年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年10月17日

I. 概況

1. 売上高総額	1,325億円余
2. 前年同月比	-4.6% (店舗数調整後/7か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-4.3% (87.3%) : 非店頭-6.8% (12.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年8月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	988,391㎡ (前年同月比: 2.8%)
6. 総従業員数	19,092人 (前年同月比: 2.8%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 0.3%、3-5月 -1.2%、4-6月 -3.6%、 5-7月 -3.5%、6-8月 -4.1%、7-9月 -3.0%

[参考] 平成19年9月の売上高増減率は-2.1%

【9月売上の特徴】

- (1) 都内各店で入店客数は前年をクリアしたが、単価の低い食料品などがシェアを伸ばした反面、重衣料や宝飾品等の高額商材が不振であった影響で、客単価が下落し売上全体を押し下げる結果となった。
- (2) 今年秋にリニューアル・オープンした各店の売場では、上手く需要動向に適応して目標予算を達成するなど順調に推移している。
- (3) 9月に入って都内で巡回開催された「北海道物産展」は、各店いずれも対前年比二桁増を記録するほど好評であった。
- (4) 景気の影響を受けやすい紳士服は、カジュアルウェアが堅調である一方で、ビジネスアイテムが苦戦を強いられている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 6店、②変化なし: 6店、③減少した: 8店、④不明: 3店
- (3) 9月歳時記 (敬老の日、秋分の日/お彼岸) の売上 (同上)
①増加した: 1店、②変化なし: 11店、③減少した: 1店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 15店、③減少する: 3店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年09月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	132,558,429	100.0	-4.6 (-3.4)
紳士服・洋品	10,027,125	7.6	-2.3 (-2.3)
婦人服・洋品	31,582,055	23.8	-6.7 (-6.3)
子供服・洋品	2,182,991	1.6	-8.8 (-8.3)
その他衣料品	3,157,816	2.4	-11.8 (-11.7)
■ 衣 料 品	46,949,987	35.4	-6.3 (-5.9)
■ 身のまわり品	19,404,080	14.6	-6.8 (-5.6)
化粧品	7,364,198	5.6	1.2 (1.7)
美術・宝飾・貴金属	8,427,721	6.4	-4.8
その他雑貨	6,914,612	5.2	-13.6 (-11.1)
■ 雑 貨	22,706,531	17.1	-5.9 (-4.9)
家 具	2,347,300	1.8	-20.2 (-19.5)
家 電	672,694	0.5	-42.8
その他家庭用品	4,503,864	3.4	-6.0 (-5.0)
■ 家 庭 用 品	7,523,858	5.7	-15.6 (-14.8)
生 鮮 食 品	4,422,832	3.3	-0.8 (3.6)
菓 子	7,084,909	5.3	1.1 (2.7)
惣 菜	6,404,555	4.8	-4.2 (-3.1)
その他食料品	9,465,695	7.1	7.6 (10.0)
■ 食 料 品	27,377,991	20.7	1.6 (3.8)
食 堂 喫 茶	3,740,769	2.8	-0.5 (6.0)
サ ー ビ ス	1,643,208	1.2	-22.3 (-18.6)
そ の 他	3,212,005	2.4	48.0 (48.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,675,996 千円	-15.5
従 業 員 数	19,092 人	2.8
店 舗 面 積	988,391 m ²	2.8

営 業 日 数	29.9 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。菓子は21か月連続プラス、化粧品は先月前年比較を開始して以来初めてマイナスとなったが2か月ぶりにプラスとなった。また、その他食料品が2か月連続プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.6	—	7か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.3	-0.2	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.7	-1.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.8	-0.2	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-11.8	-0.3	5か月連続マイナス
衣料品	-6.3	-2.3	2か月連続マイナス
身のまわり品	-6.8	-1.0	6か月連続マイナス
化粧品	1.2	0.1	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.8	-0.3	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-13.6	-0.8	4か月連続マイナス*
雑貨	-5.9	-1.0	5か月連続マイナス
家具	-20.2	-0.4	6か月連続マイナス
家電	-42.8	-0.4	9か月連続マイナス
その他家庭用品	-6.0	-0.2	4か月連続マイナス
家庭用品	-15.6	-1.0	4か月連続マイナス
生鮮食品	-0.8	0.0	2か月ぶりマイナス*
菓子	1.1	0.1	21か月連続プラス*
惣菜	-4.2	-0.2	6か月連続マイナス*
その他食料品	7.6	0.5	2か月連続プラス*
食料品	1.6	0.3	2か月連続プラス
食堂喫茶	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
サービス	-22.3	-0.3	2か月連続マイナス
その他	48.0	0.8	23か月ぶりプラス
商品券	-15.5	-0.4	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>